

令和8年6月25日
北九州市都市ブランド創造局

報道機関 各位

開催告知

昭和から江戸へ
タイムスリップ!

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館 開館25周年記念事業
企画展「むかしのどうぐ展 くらべてみよう、いまとむかし」

親子三世代が会話を弾ませながら歴史に触れられる体験型展示「むかしのどうぐ展」を開催します。昭和の懐かしい道具から江戸時代に使用された品々まで、約30点を展示し、実際に触れて体験できる展示物もあります。

また、会期中には、「ガリ版(印刷機)体験」のワークショップも開催します。
ぜひ、取材方よろしくお願いたします。



- 1 内容
- 会 期: 令和8年(2026年)7月18日(土)～8月30日(日)
- 会 場: 長崎街道木屋瀬宿記念館 みちの郷土史料館 企画展示室
(北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16-26)
- 開館時間: 9時～17時30分(入館は17時まで)
- 休 館 日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
- 観 覧 料: 無料(ただし、みちの郷土史料館の入館料が必要)
入館料 大人240円/高校生120円/小中学生60円

ワークショップ **がり版(とう写版)を体験しよう!**

北九州市を中心に活動している「がり版研究会」の小松良子氏を講師にお迎えして、大人と子どもと一緒に参加できる「がり版(印刷機)体験」を開催します。今では使う機会のない貴重な道具で自由な作品をつくりましょう!

会 場:長崎街道木屋瀬宿記念館 こやのせ座ホール

日 時:令和8年8月22日(土)13時~14時30分(受付は12時30分から)

定 員:先着10組(1組2名まで)

※参加をご希望される方は、問い合わせ先までお電話ください

参加費:無 料



R7 年度がり版体験開催風景

【とう写版とは?】

印刷機の一つ。通称がり版。明治期にて実用化され、コピー機の普及によりその姿を消す。使用方法は原紙に鉄筆で印刷したい文字を書く。鉄筆で書いた部分のみにインクが写るという、1枚の原紙で大量の印刷を可能にした画期的な道具である。

2 主催者 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

3 添付資料 企画展「むかしのどうぐ展 くらべてみよう、いとむかし」チラシ

<問い合わせ先>



長崎街道木屋瀬宿記念館 担当:加藤

〒807-1261 北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16-26

電話 093-619-1149 FAX 093-617-4949

Eメール shi-koyanoseshuku@city.kitakyushu.lg.jp

木屋瀬宿記念館HP <https://koyanose.jp>



HPはこちら